

学報

2018年7月 Vol. 731



スマート金型開発拠点開所式を開催

第69回創立記念日行事を開催しました	01
第19回国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修 開催	05
医学教育開発研究センター (MEDC)	
第68回医学教育セミナーとワークショップ 開催	06
宇宙工学講座開講式を実施	07
交通安全・防犯指導の講習会を開催	08
スマート金型開発拠点開所式を開催	09
岐阜大学・FC岐阜 環境連携事業	
岐阜う米(まい)プロジェクト『親子田植え体験・どろんこサッカー』を開催	10
岐阜大学教育学部附属小・中学校で中間研究発表会を開催	12
平成30年度第4回学長記者会見を実施	14
「環境ユニバーシティ」生物多様性の保全活動	15
2018 サマースクール (受入) 開始	16
アルバータ大学 (カナダ) エクステンション学部英語学校長一行が本学を訪問	17
工学部社会基盤工学科 木下幸治准教授らが平成30年度「環境賞」で「環境大臣賞」を受賞	19
学位授与	21
表彰受賞者	22
外国人研究者の受け入れ	23
産官学連携の実施状況	24
メディア掲載一覧	25
諸会議	29
主要日誌	31
人事異動 (学内限定)	34

第69回創立記念日行事を開催しました

本学は平成30年6月1日（金）に創立69周年を迎えたことから、本学講堂において、創立記念日行事を開催しました。

行事中「学長報告」では、森脇学長から、高等教育における進学率の現状と大学入学者の構造変化に対応する岐阜大学の取り組みについて将来ビジョンを用いて説明しました。

森脇学長は、今後、岐阜大学のブランド価値を高め、ハイエンドの学生を取り込んでいくことを強調しました。

また、昨年度に引き続き、同窓会連合会会長表彰と、その受賞者による講演が行われました。

今年度は、大阪大学名誉教授であり、レーザー核融合の分野において世界トップレベルの科学者として活躍される工学部卒業生の疇地 宏氏及び、岐阜造園（株）社長として、都市緑化や森林づくりなどで地域産業界に貢献されている応用生物科学部（当時農学部）卒業生の小栗達弘氏が表彰されました。

このほか、名誉教授称号授与（14名）、職員表彰（7名）、学生表彰（20名）、感謝状贈呈が行われました。

同日に開催された第51回岐阜大学フォーラム（記念講演）では、2019年日本医学会総会会頭、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター名誉院長の齋藤 英彦氏を迎え、『21世紀日本と世界の医療』をテーマにご講演いただきました。

齋藤氏は、日本と欧米医療制度の違いを説明した後、21世紀の医療として再生医療やゲノム医療についてご講演いただきました。参加者は真剣な眼差しで講演に聴き入っていました。

創立記念日行事（フォーラムを含む）には教職員、在学生、卒業生、教職員OB・OG、一般の方合計約200名が参加し、本学のますますの発展を誓う良い機会となりました。

本学は6月1日を創立記念日とし、毎年、創立記念日行事を開催しています。来年度（2019年度）には岐阜大学創立70周年記念を迎えます。創立70周年記念事業として学術アーカイブズの構築、記念誌の発行、記念式典、記念講演会等の行事を予定しております。

来年度も多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時 : 平成 30 年 6 月 1 日 (金) 14 時 30 分～17 時 15 分

場 所 : 岐阜大学講堂

プログラム

- 管弦楽団演奏
- 学長報告
- 名誉教授称号授与 (14名)
- 職員表彰 (7名)
- 学生表彰 (20名)
- 感謝状贈呈
- 同窓会連合会会長表彰
- 同窓会連合会会長表彰受賞者による講演
- 記念講演 (第 51 回岐阜大学フォーラム)

『21世紀日本と世界の医療』

講師：2019 年日本医学会総会会頭

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター名誉院長

齋藤 英彦 氏



学長報告



名誉教授称号授与



同窓会連合会会長表彰 (中：疇地氏)



第 51 回岐阜大学フォーラム

2019 年日本医学会総会会頭

独立行政法人国立病院機構名古屋医療セン

ター名誉院長 齋藤 英彦 氏

名誉教授称号授与対象者（14名）

元 理事（企画・評価・基金担当）・副学長 杉戸 真太
 元 教育学部教授 篠原 清昭
 元 地域科学部教授 中川 一雄
 元 地域科学部教授 近藤 真
 元 医学系研究科教授 清島 満
 元 医学系研究科教授 武田 純
 元 医学系研究科教授 湊口 信也
 元 医学系研究科教授 出口 隆
 元 医学系研究科教授 伊藤 善規
 元 工学部教授 守富 寛
 元 工学部教授 内藤 治夫
 元 工学部教授 藤田 廣志
 元 応用生物科学部教授 田中 逸夫
 元 連合創薬医療情報研究科教授 赤尾 幸博

職員表彰対象者（7名）

○教育研究活動に著しく貢献した者

医学系研究科 岩間 亨
 医学系研究科 吉田 和弘
 応用生物科学部 長岡 利
 応用生物科学部 矢部 富雄
 応用生物科学部 志水 泰武
 流域圏科学研究センター 李 富生
 地域協学センター 益川 浩一

学生表彰対象者（20名）

教育学部 英語教育講座 4年 浅野 友予
 教育学部 家政教育講座 4年 小西 里奈
 教育学部 社会科教育講座 3年 福井 寛
 教育学部 学校教育講座 3年 水野 加菜
 地域科学部 地域文化学科 3年 岩元 成葉
 地域科学部 地域政策学科 3年 道下 裕奈
 医学部 医学科 5年 江崎 菜生
 医学部 医学科 5年 長屋 州宣
 医学部 看護学科 3年 中村 真由香

工学部 社会基盤工学科 2年 高井 教名
工学部 機械工学科 3年 関 晶真
工学部 機械工学科 3年 今村 翼
工学部 化学・生命工学科 3年 山崎 瑞木
工学部 化学・生命工学科 3年 畑 直樹
工学部 電気電子・情報工学科 3年 筒井 大斗
工学部 電気電子・情報工学科 3年 箕浦 翔悟
工学部 電気電子・情報工学科 3年 鈴木 壮磨
応用生物科学部 応用生命科学課程 3年 田口 拓実
応用生物科学部 共同獣医学科 4年 中西 諒花
ほか1名

感謝状贈呈（3名）

○私財を寄附し、本学の教育研究の発展に寄与した者

熊切 直美

○経営協議会等の学外委員として、長期にわたり本学の経営改善に寄与した者

岡本 太右衛門

細江 茂光

同窓会連合会会長表彰

大阪大学名誉教授 疇地 宏（工学部 卒業生）

株式会社岐阜造園社長 小栗 達弘（農学部 卒業生）

第19回国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修 開催

6月1日（金）から6月3日（日）の3日間にわたり、国立大学医学部長会議常置委員会、一般社団法人全国医学部長病院長会議を主催、本学医学系研究科・医学部、同医学教育開発研究センターが世話役を担って第19回国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修が開催された。

この研修は、医学・歯学教育に関する現状と教務事務に関する理解を深め、医学部・歯学部の教務事務職員としての資質の向上を図るとともに、各国公立大学における円滑な教務事務の進展に寄与することを目的として開催されており、第19回目となる今回も全国各地の医学部・歯学部より、教務事務職員計46名が岐阜大学サテライトキャンパスおよび柳戸キャンパスに参集した。

3つの講義、2課題の班別討議、併催の第68回医学教育セミナーとワークショップ参加などさまざまな内容の研修があり、第2日目には東京慈恵会医科大学教育センター長の福島統教授、第3日目には学校法人高木学園の村瀬隆彦主幹を迎え、それぞれ「医学教育分野別評価を受ける意義」、「これからの教務系職員に求められる専門職性とその養成」を講義いただいた。また、班別討議、ワークショップなどにおいては積極的に質疑応答、意見交換が交わされた。

参加者は知識を高め、情報を得るとともにお互いの交流を深めることができ、充実した3日間の研修を修了した。



講義を行う村瀬隆彦主幹



班別討議の様子



会場の様子

医学教育開発研究センター (MEDC)
第68回医学教育セミナーとワークショップ 開催

医学教育開発研究センター (MEDC) は、6月2日 (土) と3日 (日) の2日間、第68回医学教育セミナーとワークショップを開催した。公募を含め計6つのワークショップとセミナーを実施し、全国各地から総勢183名の参加者・講師が集った。

今回は、第6回日本シミュレーション医学教育学会学術大会及び第19回国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修と併催で行われ、今どきの学生気質と対応、IRとは何か、ニッポンの臨床教育及びシミュレーション教育の Tips 等の新しい試みのワークとなった。

セミナーにはマギル大学 (カナダ) のジョイス・ピカリング先生を迎え、『Simulation in Medical Education at McGill』のテーマでご講演いただいた。

マギル大学シミュレーションセンターの概説、設立の背景、教員と学生の意識改革と近年の効率的教員養成の試みの方法の紹介や実際に行われているシミュレーション教育・デブリーフィングを垣間見ることができ、参加にとっては大変意義のあるセミナーとなった。

MEDC では、医学教育共同利用拠点として我が国の医療者教育の普及・開発・向上に寄与すべく、年4回「医学教育セミナーとワークショップ」を開催している。

次回第69回は8月18日 (土) ~19日 (日) の2日間、信州大学にて開催する。



講演される
ジョイス・ピカリング先生

宇宙工学講座開講式を実施

地域協学センターは、6月2日（土）、宇宙工学講座開講式を実施し、宇宙工学講座を受講する岐阜県内の高校生及び高専生等79人が参加した。

宇宙工学講座は、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）における「高大連携事業」の一環として、岐阜県、各務原市、岐阜県教育委員会、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館及び岐阜工業高等専門学校と連携して実施し、テレビ会議システムを利用した各高校での講義受講のほか、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の見学も行い、最先端の宇宙教育を提供するものである。

開講式では、森脇学長から「本講座は、宇宙工学に関する基礎知識を習得し、今後の人工衛星・ロケット・航空産業で活躍する人材育成を目的としており、受講生の皆さんには、航空宇宙産業の更なる発展に寄与することを期待したい」と挨拶があった。

開講式に引き続いて国立天文台チリ観測所長の阪本成一氏による「宇宙への挑戦」と題した特別講演が行われ、参加した高校生・高専生は熱心に聞き入っていた。

今後本講座では、岐阜大学やJAXA等の講師による計9回の講義及びJAXAの見学を予定している。



森脇学長の挨拶



宇宙工学講座の参加者

交通安全・防犯指導の講習会を開催

6月6日（水）、岐阜北警察署のご協力により、教職員を対象に交通法規の遵守と交通安全に関する講習会を全学共通教育棟多目的ホールにて開催した。

この講習会は、学生・職員が関係する交通法規の確認、事故防止のために開催された。

当日は、教職員約40名の参加した。

講習会の開催に先立ち、大藤 生氣理事（総務・財務担当）・副学長の挨拶があり、「学生を指導するにあたり、教職員が交通安全に自覚を持たなければならない」と述べ、実際に事故が多くなる薄暮時・夜間の交通事故例のビデオを視聴した。

ビデオ内では運転者側と歩行者側からは異なる見え方をしており、運転者は安全な速度と方法で運転を心がけるとともに見えない危険を予測することが大切であることを学んだ。

その後、林 一寿岐阜北警察署交通課長から、安全予測と悪質・重大な事故を避けるためのポイント、また、外国人が国際免許制度を利用して日本で運転する場合の注意点を講話していただいた。

参加した職員は、メモを取り、熱心に話を聞いていた。



挨拶をする大藤理事（総務・財務担当）・副学長



講話する林 一寿（かずひさ）岐阜北警察署交通課長

スマート金型開発拠点開所式を開催

6月7日（木）に「スマート金型開発拠点開所式」を開催した。

本拠点では、本学と企業、公的研究機関が協働して、従来の金型、プレス成形機、射出成形機等にセンシング機能を追加したスマート化を図り、これらをIoTプラットフォームに連結してデータを集積・解析し、成形不良の予兆を捉え自律的に成形や加工条件を調整するスマート生産システムを構築することを目指す。

開所式では、森脇学長、来賓の生田知子文部科学省産業連携・地域支援課地域支援室長、河合孝憲岐阜県副知事、関連企業代表者ら約80名の参加があった。

開所におけるテープカットの後、王副学長（産官学連携担当）の拠点説明及び実際に拠点内見学があった。見学では、金型や成型機へセンサーを取り付け、工業製品を成形する際にデータを収集する様子を公開した。

引き続き、シンポジウムが行われ、生田知子文部科学省産業連携・地域支援課地域支援室長から「文部科学省における地域の科学技術イノベーション創出に向けた挑戦」と岩淵明岩手大学長より「『スケールシフト的』な思考とは」という題目で講演が行われた。

最後に王副学長、生田氏と拠点に参画する企業代表者による「スマート金型開発拠点の研究活動」について座談会が行われた。研究者と来賓及び参加者との情報交換が活発に行われた。

今後、本学はこの拠点において参画企業とともに技術・製品開発を進め、日本産業界の競争力を飛躍的に向上させることを目指す。



テープカットの様子

座談会の様子

岐阜大学・F C岐阜 環境連携事業

岐阜^{まい}う米プロジェクト『親子田植え体験・どろんこサッカー』を開催

6月9日（土）「岐阜大学と岐阜フットボールクラブとの環境保全における連携に関する覚書」に基づき、「親子田植え体験・どろんこサッカー」を本学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター柳戸農場の水田で行った。

このイベントは、お米ができる自然環境をより身近に感じ環境保全について考えてもらうことを目的に、田植えから収穫・販売までを本学とF C岐阜が協力して行う「岐阜^{まい}う米プロジェクト」の第一弾で、今回で4回目の開催となる。

当日は、どろんこサッカーに、本学教育学部附属小学校児童とF C岐阜サッカースクール生あわせて39名が参加した。また、その家族も含め総勢68名の親子で田植え体験を行った。

田植え体験では、はじめに応用生物科学部の田中貴助教より、「自分たちが一年間に食べるお米の量を田んぼの面積で体感してほしい」と日本人のお米の消費量や稲の歴史について講義があり、また牛糞や生き物の死骸なども米を育てるうえで大切な堆肥となることを、子供たちは時に驚きの声をあげながら興味深げに聞き入っていた。

その後、泥の感触に歓声を上げながら田んぼに入った子どもたちは、スタッフの掛け声に合わせて、一步一步前に進みながら丁寧にハツシモの苗を植えた。

どろんこサッカーでは、4チームに分かれて試合を行いました。子どもたちは泥に足を取られ苦戦しながら、転んでもお構いなしに、全身泥だらけになって夢中でボールを追いかけた。

イベント中には、カエルを見つけて田んぼをのぞきこんだり、農場で収穫した野菜のスープを楽しむ子どもたちの姿が見られ、体全体で自然に触れ合うことのできる絶好の機会となった。

今後、岐阜^{まい}う米プロジェクトでは、今回植えた苗を参加した子どもたちと11月に収穫



田中先生による稲の歴史を講義する子どもたち



丁寧に稲の苗を植える参加者

泥んこになってボールを追いかける子どもたち

し、FC岐阜の選手にオリジナルの「岐阜う米」として贈る。また、農場での販売も予定している。



田植え後、みんなで記念撮影

教育学部附属小・中学校で中間研究発表会を開催

本学教育学部附属中学校は平成30年6月16日（土）、附属小学校は平成30年6月23日（土）に中間研究発表会を開催した。

中間研究発表会では小学校研究主題「見方・考え方を働かせて、学びを深める児童の育成」、中学校研究主題を「新しい時代を生き抜く生徒の育成 ―学校と社会をつなぐカリキュラムの設計（1年次）―」を掲げ、公開授業をもとにした、県内外の教員、教育関係者及び学生と意見交換を行い、より一層の研究の充実を目指した。

今年度は、6月23日（土）に國學院大学教授（前文部科学省視学官）の田村学先生を招き、「主体的・対話的で深い学び」の演題の下、教育講演会を開いた。

2日間で延べ1600人以上の教員、教育関係者及び学生の参加があり、非常に活発な議論が交わされた。



6年生算数「速さ」の様子



2年生国語「スイミー」の様子



4年生図工「ふぞくの森のひみつ木ち」の様子



1年生音楽「はくをかんじて リズムを打とう」の様子



3年生技術「エネルギー変換に関する技術」



3年生社会「人権と共生社会」



3年生数学「平方根」の様子



3年生英語「Season1」の様子



教育講演会の様子



平成30年度第4回学長記者会見を実施

本学は、6月20日（水）に、平成30年度第4回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から4月に開設した「岐阜大学イングリッシュ・センター」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで江馬理事（教学・附属学校担当）・副学長からイングリッシュ・センター設置の経緯と目的について説明した後、デイビッド バーカーイングリッシュ・センター長からセンターの体制・教育内容と特徴を説明した。

イングリッシュ・センターでは3つの教育指針（統一、向上、管理）と3つの基本方針（①高校英語とは異なる教育方法をとる②はっきりとした目標を立てる③15週で効果が見えるカリキュラムを実施する）をもとに全学統一のカリキュラムを実施している。カリキュラム内では **Speaking, Listening, Reading, Writing** の4技能を学び、相互に関連し、学生が段階的に英語力を高めることができる。

バーカーセンター長は「英語の知識というよりも、英語を使用して実践的に何かできる」ということを大切にしたいと述べた。

また、センターでは教員が毎週木曜日に集まり、英語教育の改善のためのディスカッションする機会や学生、教員、事務職員に対する英語学習支援（**English Xtra**）も行っている。

今後、本学ではイングリッシュ・センターを基盤として本学の学生にあった授業を行い、学生の英語能力を高めていく。



将来ビジョンを用いて説明する森脇学長



イングリッシュ・センターの体制・教育内容と特徴を説明するバーカーセンター長

「環境ユニバーシティ」生物多様性の保全活動

6月25日(月)、「環境ユニバーシティ」における生物多様性の保全および、「キャンパスマスタープラン」におけるキャンパスの水辺空間整備から「クリーンキャンパス～オオフサモ駆除～第二弾」を大学北部に位置する鷺ヶ池からキャンパスを縦断する構内河川において行った。

地域科学部の向井貴彦准教授、応用生物科学部の伊藤健吾准教授の指導のもと、有志の学生と環境対策室、施設環境部が協働して行う生物多様性の保全活動である。

昨年11月に行った駆除活動により、特定外来生物「オオフサモ」は根絶していないものの相当少なくなっており、活動の効果が確認できたため、繁茂し水流を妨げているコウホネ(水草)の間引きも同時に行った。コウホネは在来種であっても、学内には元来なかったものであり、構内河川を横断するほど繁茂し水流を妨げ生態系に影響を及ぼす恐れがある。参加者は胴付長靴を着用し構内河川に入り手作業で行った。

今後も生物多様性の観点から在来種への影響に配慮した活動を継続して行う予定である。



作業を終えて 集合写真



作業風景 (コウホネの間引き)

2018 サマースクール（受入）開始

グローバル推進本部は、6月27日（水）から、サマースクール（受入）を開講した。参加学生としてカセサート大学（タイ）、ノーザンケンタッキー大学（アメリカ）、マレーシア国民大学（マレーシア）、電子科技大学（中国）、広西大学（中国）、木浦大学（韓国）から合計13名の学生が、本学にやってきた。これから7月末まで勉学に励む。

サマースクール（受入）は、本学の学術交流協定大学の学生を対象に毎年開講しているもので、今年で31回目を数える歴史のあるプログラムである。日本語学習に加え、日本文化体験として近郊の関市（刃物産業）、土岐市（陶芸体験）、郡上市を訪れる。郡上市では3泊4日のホームステイも行われる。このほかに、能楽（能・狂言）体験、相撲観戦と多彩なプログラムが準備され好評を得ている。サマースクール参加学生達（サマスク生と呼称）は、日本人学生チューターと共に約1か月間本学学外合宿研修施設に宿泊し、食事や勉強等生活を共にすることにより、深い絆が生まれる。これを契機に留学を志し、海外に留学したチューター経験者も多数いる。

6月27日（水）は、開講式とガイダンス、キャンパスツアーを行った後、歓迎会を開催した。歓迎会では、サマスク生達は、日本語で専攻や趣味などについて自己紹介をした。和気あいあいとした雰囲気の中で、学生達の距離はすぐに縮まり話の輪が広がった。



開講式の様子



学生に向けてメッセージを伝える鈴木理事（国際・広報担当）・副学長

アルバータ大学（カナダ）エクステンション学部英語学校長一行が本学を訪問

平成 30 年 6 月 28 日（木）、本学との大学間学術交流協定校であるアルバータ大学（カナダ）からマーティン・グアルダド エクステンション学部英語学校長、マーク・ベル氏、津島里佳氏が本学を訪れた。

本学は昨年度から夏期短期留学プログラムとして、アルバータ大学への ESL (English as a Second Language) へのおよそ 4 週間の学生派遣を開始しており、本年度も引き続き派遣する予定である。

本年度はこれに加え、専門英語を学ぶためのラボワークを含む 6 週間プログラム、ESP (English for Specific Purpose) を本学のレイモンド・コウ特任准教授と共同開発・運用し、さらに本学事務職員の同大学での海外実務研修も企画しており、本学とアルバータ大学とは教職員・学生を問わず深い関係を構築しつつある。

今回の訪問の主な目的は、これら 3 つのプログラムの進捗状況と今後のプログラム設計などに関する打ち合わせと留学予定者に向けたアルバータ大学に関するオリエンテーションであった。

打ち合わせでは非常に活発な議論が交わされ、ベル氏による日本人学生向けのオリエンテーションでは、参加学生は熱心に聞き入っていた。

また、海外実務研修に行く予定の本学事務職員 2 名とアルバータ大学職員との顔合わせも行い、渡航前にお互いを事前に知る非常によい機会となった。

さらに、本学鈴木文昭理事（国際・広報担当）/ グローカル推進本部長を表敬訪問し、相互の大学の状況やプログラムの進捗状況についての報告があった。

今回の訪問では、本学とアルバータ大学との連携を一層進める上で、大変有意義な機会となった。



鈴木理事（左）とグアルダド教授



グアルダド教授（真ん中右）、ベル氏（左から3番目）、津島氏（右から2番目）と岐阜大学関係者



本学職員海外実務研修予定者とベル氏



学生向けオリエンテーション

工学部社会基盤工学科 木下幸治准教授らが平成30年度「環境賞」で「環境大臣賞」を受賞

6月7日（木）に東京都内にて木下幸治准教授（工学部社会基盤工学科）、山田博文理事長（一般社団法人日本鋼構造物循環式ブラスト技術協会）、山田翔平取締役（ヤマダインプラテクノス株式会社）、鈴木実理事（循環式エコクリーンブラスト研究会）らが平成30年度「環境賞」で「環境大臣賞」を受賞した。

「環境賞」は温暖化、資源の枯渇、生物種の絶滅など地球環境問題が深刻さを増している中、広く環境意識の啓発を図ることを目的とし、環境保全や環境の質の向上への貢献が認められる成果、または貢献が期待される成果をあげた個人、法人、団体・グループ等を表彰するものである。

木下准教授らは、「ゴミを減らせば世界が変わる」を合い言葉に、「鉛・PCB廃棄物を削減する循環式ブラスト塗膜除去」というテーマで「環境賞」の中でも最高の賞である「環境大臣賞」を受賞した。

この工法のテーマは、鋼製橋梁の長寿命化に必要な塗替塗装時（素地調整）において、鉛やポリ塩化ビフェニール（PCB）などの有害物質を多く含む、大量の産業廃棄物を発生させていたという問題点を解決すべく、従来の素地調整工法で採用されていた非金属系研削材から、金属系研削材を採用することで、研削材を繰返し再利用する事を可能とし、従来工法と比較して、産業廃棄物の発生量を1/40にすることを可能とした最新の工法である。

また、金属系研削材は非金属系に比べ比重が重く、また、湿度に弱く高価であり、従来は工場内での使用に限られていましたが、回収方法、ドライ環境設備や研削材と塗料カスの分別装置を取り入れた移動式プラント設備を開発することで現場でも金属系研削材の使用を可能とした。

さらに、金属系研削材は粉砕しないため、有害物質を含んだ産業廃棄物や粉じんの発生を大幅に削減することができ、安全や品質の向上にも貢献できたことを報告した。

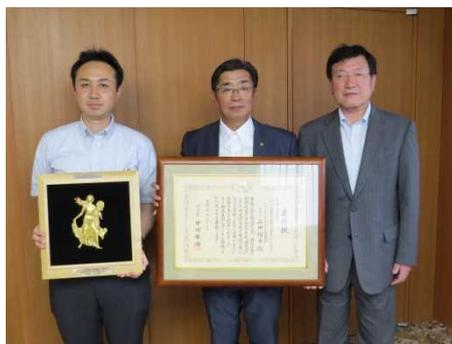
今後、本工法の発展形として、航空機や自動車などの製造過程で採用されている「ショットピーニング」を用いた予防保全技術を有効利用することで、鋼製橋梁の自動車荷重に起因する疲労き裂を予防する「エコクリーンハイブリッド工法」についても研究を進めていく予定である。

6月29日（金）には木下准教授、山田博文理事長（一般社団法人日本鋼構造物循環式ブラスト技術協会）が学長室を訪問し、受賞を森脇学長に報告した。

2名からの報告を受け、森脇学長は「世の中で役立つことである。今後も期待したい。」と称えた。



報告の様子



記念撮影（左から木下准教授，山田博文理事長（一般社団法人日本鋼構造物循環式ブラスト技術協会），森脇学長

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
甲第1080号	博士(医学)	田島 ジェシー雄	平成30年6月20日	Clinical Significance of Glycoprotein Non-metastatic B and Its Association with EGFR/HER2 in Gastrointestinal Cancer (消化管癌における Glycoprotein Non-metastatic Bの臨床的意義と EGFR/HER2との相互作用)

表彰受賞者

平成30年度環境賞 環境大臣賞 受賞

受賞者：木下 幸治 工学部准教授

業績名：平成30年度環境賞 環境大臣賞

鉛・PCB廃棄物を削減する循環式ブラスト塗膜除去

受賞日：平成30年6月7日

Lectureship Award 2018 受賞

受賞者：芝原 文利 工学部准教授

業績名：科学研究費助成事業 新学術領域研究「高難度物質変換反応の開発を指向した精密制御反応場の創出」

受賞日：平成30年6月13日

外国人研究者の受け入れ（6月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
工学部	アリ ピザロ チョン Ary Pizarro-Chong (カナダ)	ケベック大学高等工科大学 修士生 Master of Engineering student Ecole de Technologie Supérieure	2018/6/19～ 2018/8/20	VRを利用した車椅子シミュレータに関する研究 Development of Wheelchair Simulator using Virtual Reality

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成30年6月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	神原 信志	大阪ガス(株)
工学部	木下 幸治	(株)興栄コンサルタント
地域連携スマート金型技術研究センター	吉田 佳典	日立金属(株)
応用生物科学部	長岡 利	岐阜県中山間農業研究所
工学部	神原 信志	(株)神戸製鋼所
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	(株)デンソー
工学部	大矢 豊	岐阜県セラミックス研究所
工学部	河瀬 順洋	(株)サムスン日本研究所
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	(株)岐阜多田精機
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	(株)チウキョー
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	太平洋工業(株)
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	小島プレス工業(株)
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	扶桑工機(株)
工学部	松下 光次郎	各務原航空機器(株)

○受託研究

(平成30年6月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
流域圏科学研究センター	斎藤 琢	国立研究開発法人 森林研究・整備機構
工学部	高橋 周平	北海道大学
工学部	八嶋 厚	国土交通省国土技術政策総合研究所
流域圏科学研究センター	久世 益充	岐阜県
応用生物科学部	渡邊 一弘	DS ファーマアニマルヘルス(株)
工学部	原 武史	(株)ジェイマックスシステム
大学院医学系研究科	森田 啓之	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
大学院医学系研究科	松尾 政之	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

メディア掲載一覧

○新聞

(平成30年6月分)

掲載日	新聞名	内容
6月1日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議⑨：岐阜の立地 名古屋に近いのに静か ～教育学部 大藪千穂 教授～
6月2日	中日	成績優秀者を岐阜大が表彰
6月2日	岐阜	岐阜大OBたたえる 創立記念日 疇地, 小栗さん表彰
6月2日	岐阜	特産づくり 三者一体 町, 住民, 岐阜大 ワサビ, サカキ 産業 「自立」目指す ～福井博一 副学長～
6月5日	岐阜	◎研究室から大学はいま：化学反応で新たな物質に ～工学部化学・生命工学科 芝原文利 准教授～
6月5日	岐阜	広域バス路線見直し協議 来月以降, 対象選定 ～竹内伝史 名誉教授～
6月5日	岐阜	水害時, 素早く避難を 県不動産鑑定士協会 市民講座で呼び掛け ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
6月6日	岐阜	県の新庁舎建設 隈さんアドバイザー 内・外装など設計に助言 ～工学部 高木朗義 教授～
6月6日	中日	隈氏 デザイン助言 県新庁舎, 木を生かす ～工学部 高木朗義 教授～
6月7日	岐阜	◎スマイル：竹内瑞紀さん ～応用生物科学部4年 竹内瑞紀さん～
6月7日	読売	「スマート金型」開発へ拠点 不良品 AIで防ぐ
6月8日	中日	県二輪車大会 バイク運転 技磨いて 代表の万田さん「安全意識向上につなげたい」 ～「樽井地区 SRC」代表 岐阜大職員 万田真樹さん～
6月8日	日本経済	岐阜大, 金型開発の拠点 デンソーなどと IoT や AI 活用
6月8日	岐阜	次世代の「スマート金型」共同研究 岐阜大「開発拠点」開所 県内2社含む11社参画
6月8日	中日	国際基準つくる場所に スマート金型 岐阜大に開発拠点開所
6月8日	岐阜	◎スマイル：岩井祐香さん ～地域科学部3年 岩井祐香さん～
6月9日	岐阜	◎スマイル：奥村華子さん ～地域科学部4年 奥村華子さん～
6月9日	岐阜	ブルーベリー生産者が交流 岐阜市で全国シンポ 県内の栽培事例紹介 ～地域科学部 林琢也 准教授～
6月10日	京都	自治会の課題 意見交換 自主防災の講演も ～流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授～

6月12日	岐阜	◎研究室から大学はいま：細菌と宿主の細胞が攻防 ～医学系研究科分子・構造学講座病原体制御学分野 永井宏樹 教授～
6月12日	中日	水田どろんこサッカー 岐阜で田植え体験 ～応用生物科学部柳戸農場～
6月13日	毎日	ヤギに触れ「命」実感 産学官連携 小中学生の体験学習 ～杉山誠 応用生物科学部長～
6月13日	朝日	ヤギさん先生役 児童ら「命」学ぶ 美濃加茂市など4者連携 ～杉山誠 応用生物科学部長～
6月13日	岐阜	親子で泥んこ田植え 岐阜大と FC 岐阜が体験会 ～応用生物科学部柳戸農場～
6月14日	岐阜	リオ五輪代表 小長谷選手 茜部小児童に泳ぎ方指導 ～小長谷研二さん, 水泳部学生2名～
6月14日	岐阜	待ってた！プール開き 城西小児童, 岐阜大生と水遊び ～水泳部学生4名～
6月14日	中日	競泳 小長谷選手の速さ体感 茜部小で水泳特別授業 ～小長谷研二さん, 水泳部学生2名～
6月14日	中日	アドバイザーに隈研吾氏が就任 新県庁舎建設で ～工学部 高木朗義 教授～
6月14日	中日	獣害問題の現状学ぶ さまざまな学部から意見交換 岐阜大生「第2回ゼミ」 ～医学部看護学科1年 野村奈々子さん～
6月15日	岐阜	ヤギ活用し農業振興 美濃加茂市と岐阜大など 小中の情操教育推進 ～杉山誠 応用生物科学部長～
6月15日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議③⑩：美濃和紙 書き損じ 捨てられない ～教育学部 大藪千穂 教授～
6月16日	毎日	空き地で空き地考える 柳ヶ瀬商店街活性化へ 岐阜大大学院が特別講義 ～工学部 出村嘉史 准教授～
6月16日	岐阜	車の事故発生時 救急車自動要請 トヨタ, ホンダが開始 ～医学部附属病院～
6月16日	日本経済	名大・岐阜大の法人統合 専門委設置で合意 組織・研究協力を検討
6月16日	読売	大学統合 法改正へ要望 名大, 岐大 来月取りまとめ方針
6月16日	中日	法改正 近く国に要望 名大と岐阜大 法人統合で
6月16日	岐阜	活動写真を楽しんで 岐阜善光寺 24日, 弁士招き寄席 ～岐阜大学落語研究会～
6月17日	読売	ヤギの教育活用で連携 触れ合い授業や農業体験 美濃加茂市など

		4者
6月17日	岐阜	岐阜大と名大 WG 新設合意 法人統合, 検討委も
6月18日	岐阜	災害救助の心得学ぶ 防災士育成事業 輪之内中生が受講
6月18日	岐阜	◎教えてホームドクター: 発達障害④ ASD, 脳機能に原因 ~医学部附属病院 塩入俊樹 教授~
6月18日	朝日	お金の金のキ 知って 学生らがトラブル遭わないように 愛知産業大・岐阜大教授が出版 ~教育学部 大藪千穂 教授~
6月19日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 電子状態を計算機で解析 ~地域科学部 地域政策学科 中塚 温 助教~
6月21日	岐阜	教養英語, 学生に公表 岐阜大, 専任教員増やし教材統一 常勤部屋で気軽に英会話も ~イングリッシュセンター長 教育学部 デイビッド・バーカー 准教授~
6月21日	中日	岐阜大で英語教育を共通化 統一カリキュラムで内容向上 ~イングリッシュセンター長 教育学部 デイビッド・バーカー 准教授~
6月22日	日本経済	◎探訪サイエンス: 岐阜大インフラミュージアム 古い工法 実物大で学ぶ
6月22日	岐阜	県図書館で8月 がんリレー講座 ~医学部附属病院~
6月23日	岐阜	◎みんなで防災・減災: 存在感が増すドクターヘリ ~医学部附属病院 高次救命治療センター ドクターヘリ・ドクターカー部門長 山田法顕 臨床講師~
6月23日	岐阜	◎サンデーコラム: 脳の発達と臨界期 ~大森正英 講師~
6月24日	岐阜	在宅障害児の医療ケア学ぼう 来月22日講習会 ~障がい児者医療学寄附講座~
6月24日	岐阜	志望大学に質問 熱心 本社進学ガイダンス
6月24日	岐阜	ベストドクターズ・イン・ジャパン 木沢病院2医師認定 ~木沢康雄 名誉院長, 出口隆 院長 (元医学部附属病院副院長) ~
6月25日	岐阜	鳥獣害対策 取り残し野菜, 放置やめて JA めぐみのと県獣医師会 シンポ ~応用生物科学部 鈴木正嗣 教授~
6月26日	読売	ヤギさんもドキドキ 美濃加茂でふれあい教室
6月26日	毎日	ヤギさんかわいい! 美濃加茂の小学校で「ふれあい教室」 ~応用生物科学研究科1年 平山久留実さん, 河合涉吾さん~
6月26日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 流域圏の問題解決を探る ~流域圏科学研究センター 丸谷靖幸 特任助教~
6月26日	日本経済	エアバス系などが出資 カーボン社 次世代技術の開発加速

6月28日	中日	「子諦めたくない」寄り添った支援を がん患者の卵子・精子凍結一部助成へ ～医学部附属病院周産期・生殖医療センター 古井辰郎 センター長～
6月28日	毎日	「男性も育児を」 NPO 法人講演 岐阜大病院 ～医学部附属病院～
6月28日	中日	アジアでトップセールス 今秋
6月29日	中日	NIE 実践9校 取り組みを紹介 岐阜で県推進協 ～教育学部附属中学校～
6月29日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議③：路面電車 時代に逆行，残念な廃止 ～教育学部 大藪千穂 教授～
6月30日	中日	◎新聞カフェ@大学ゼミ：幼少期の支援が重要 子どもの貧困 ～教育学部法律学研究ゼミ～
6月30日	中日	ハンガリー人初の有段者 岐阜大留学生 サボさん 母国にも競技かるた広めたい ～岐阜大学留学生 サボ・ダニエルさん～
6月30日	岐阜	知っておきたい不妊治療 ～医学系研究科産科婦人科学分野 古井辰郎 教授～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成30年6月分)

放送日	番組名	内容
6月4日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 土砂災害から身を守る 清流の国ぎふ防災・減災センター 児島利治 准教授
6月25日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 山岳での事故防止や山岳医療 医学部附属病院 高次救命治療センター ドクターヘリ・ドクターカー部門長 山田法顕 臨床講師

◇第204回 図書館委員会

6月5日（火）

（議事）

1. 平成29年度活動報告及び運営費決算について
2. 平成30年度事業計画及び運営費予算案について
3. 学生用図書のおすすめについて
4. 平成31年度電子ジャーナル等購入計画について
5. 図書館報『寸胴』編集ワーキンググループについて

◇第618回 役員会

6月7日（木）

（議事）

1. 懲戒処分事案について
2. 資産（物品等）の貸付申請について

◇第3回 岐阜大学グローバル推進本部会議

6月11日（月）

（議事）

1. アッサム大学（インド）との大学間学術交流協定書について教育職員雇用申請について
2. マリアノ・マルコス州立大学（フィリピン）との大学間学術交流協定の締結について

◇第619回 役員会

6月14日（木）

（議事）

1. 教育職員雇用申請について
2. 特任教員雇用申請について
3. 懲戒処分事案について

◇第3回 部局長・部長会

6月14日（木）

（協議事項）

1. 新学部の設置及び地域科学部に関する役員懇談会の方針について
2. 東海国立大学機構（仮称）について

◇第3回 教学委員会

6月19日（火）

（審議事項）

なし

◇第620回 役員会

6月21日(木)

(議事)

1. 教育職員雇用申請について

◇第171回 教育研究評議会

6月21日(木)

(審議事項)

1. 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
2. アッサム大学(インド)との大学間学術交流協定書について
3. 東海国立大学機構(仮称)について
4. 経営協議会学外委員について

◇第621回 役員会

6月21日(木)

(議事)

1. アッサム大学(インド)との大学間学術交流協定書について

◇第87回 経営協議会

6月22日(金)

(審議事項)

1. 東海国立大学機構(仮称)について
2. 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
3. 平成29事業年度財務諸表(案)等について
4. 平成31年度概算要求(案)について

◇第3回 入学試験専門委員会

6月27日(水)

(審議事項)

1. 教育学部私費外国人留学生特別入試選抜基準の一部改正(案)について
2. 医学部看護学科社会人特別入試選抜基準の一部改正(案)について
3. 工学部入学者選抜基準の一部改正(案)について
4. 応用生物科学部私費外国人留学生特別入試選抜基準の一部改正(案)について
5. 平成31年度入学者選抜に関する要項(案)について
6. 平成31年度特別入試(推薦入学I・社会人・帰国生)学生募集要項(案)について

◇第622回 役員会

6月28日(木)

(議事)

1. 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
2. 平成29事業年度財務諸表(案)等について

主要日誌

月 日	行 事 名
6/ 1	第69回創立記念日行事
1	東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会連絡会
1	東海・北陸地区国立大学法人等人事担当課長会議
1	第19回国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修(～3日)(MEDC主催)
2	第68回 医学教育セミナーとワークショップ(～3日)
2	岐阜大学農学部・応用生物科学部創立95周年記念事業
5	企画運営会議
5	第204回図書館委員会
5	機構ミーティング
6	運営委員会
6	教務厚生委員会
6	教務厚生委員会(看)
6	学務委員会(看)
6	連合獣医学研究科運営協議会
7	役員懇談会
7	男女共同参画推進室会議
7	スマート金型開発拠点開所式
7	JST「スマートテクノロジー新技術説明会」
7	スマート金型開発拠点開所式
7	病院運営会議
7	全国連合農学研究科長懇談会(連農)
8	全国連合農学研究科協議会(連農)
9	FC岐阜連携事業 田植え体験&どろんこサッカー
9	岐阜大学公開講座「見る・考える・創る「形と数」の教室」
9	FC岐阜共催「どろんこサッカー」
11	学修支援部門会議
11	教務厚生委員会(医)
12	教学企画室会議
12	学務委員会(医)
12	代議員会(連農)
13	献血
13	第3回 English Circle of Friends
13	アルバータ大学(カナダ)EST事前研修
13	教学委員会
13	看護学科教員会議(看)
13	入試委員会
13	学科長等会議
13	連合一般ゼミナール／農学特別講義 I (日本語)(連農)

- 14 役員懇談会
- 14 部局長・部長会
- 14 多様性人材活用推進会議
- 14 教職課程支援部門会議
- 14 部局長・部長会
- 15 代議委員会
- 16 3年次編入学(一般入試)
- 18 大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会
- 18 日本教育大学協会評議員会
- 18 病院科長会議
- 19 ランチタイムセミナー
- 19 教学委員会
- 19 入試委員会
- 19 研究科委員会
- 20 研究科委員会・教授会
- 20 教授会・研究科委員会
- 20 教授会議(医)
- 20 教授会、研究科委員会
- 20 教授会・研究科委員会
- 21 役員懇談会
- 21 教育研究評議会
- 21 教育研究評議会
- 21 病院運営会議
- 22 経営協議会
- 22 工学部説明会(岐阜大学会場)
- 25 コーディネーター会議
- 25 げんさい楽座
- 25 保健管理センター運営委員会
- 25 工学部説明会(名古屋会場)
- 25 企画運営委員会
- 26 教学企画室会議
- 26 医局長等合同会議
- 27 ハラスメント相談員等研修会
- 27 教授会
- 27 第4回 English Circle of Friends
- 27 岐阜大学サマースクール(受入)
- 27 教養教育推進部門FD
- 27 入学試験専門委員会
- 27 経営企画会議
- 28 役員懇談会
- 28 教員会議

- | | |
|----|----------------------------|
| 28 | 平成30年度全国国立大学法人教員養成学部事務長協議会 |
| 29 | 全国国立大学学生関係部長・課長会議 |
| 30 | H30酒と文化の実践的理解シンポジウム |